

元祖大師法然上人御遺訓一枚起請文
もろこし我が朝にもろもろの智者達の
沙汰し申さるる觀念の念にもあらずま
た學問をして念の心をさとりて申す念
仏にもあらずただ往生極樂のためには
南無阿彌陀仏と申して疑いなく往生す
るぞと思ひ取りて申す外には別の仔細
候わず ただし三心四修と申すことの
候うは皆決定して南無阿彌陀仏にて往
生するぞと思ふうちにこもり候うなり
この外に奥深きことを存せば二尊のあ
われみに外れ本願にもれ候うべし 念
仏を信ぜん人はたとひ一代の法をよく
よく學すとも一文不知の愚鈍の身にな
して尼入道の無智のともがらに同じう
して智者のふるまいをせずしてただ一
向に念仏すべし
うまれてはまづ思ひいでんふるさどに
契りし友のふかきまことを

為

令和 年 月 日

淨寫